

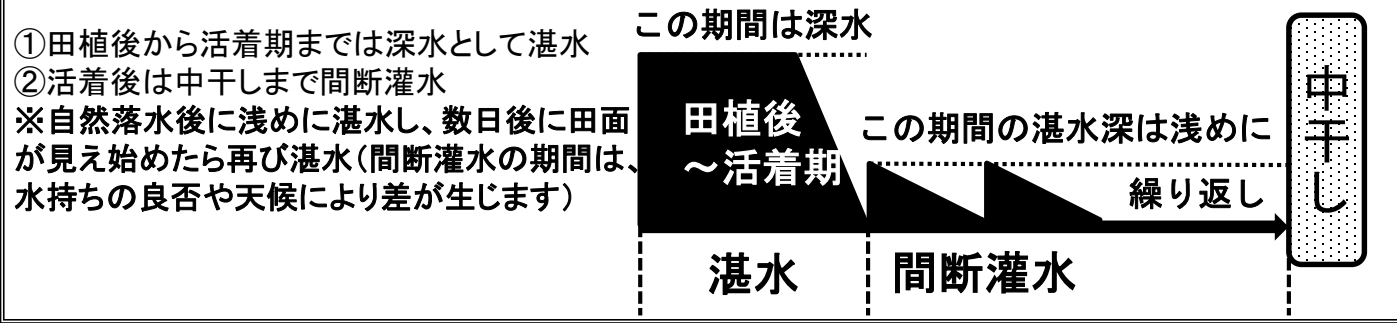


西日本では、今後1か月(6月5日～7月4日)予想の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並となっており、平年と同様に雨や曇りの日が多いと予想されています。

1. 田植後の水管理について

- ・田植後に水を溜めたままでは、ガスの発生や酸欠により水稻の根を弱め生育不良を招きます。
- ・活着した後は間断灌水を行い、圃場に溜まったガスを抜き、水稻の根に酸素を供給しましょう。

栽培期間中の水管理 田植後～中干し



※補植用苗は、イモチ病の発生源になります。不要なら、いつまでも水田に放置せずに除去してください。

2. 中干しについて

茎数が320～330本/m²を確保できたら中干しをしましょう。
中干しの期間はおおむね、7～10日程度です。
田面に軽くヒビが入る程度(湿田・・・軽く足跡がつく程度、乾田・・・弱いヒビが入る程度)
(干しすぎは、根を傷めます)

- 中干の効果
- ・無効分げつの発生を抑制し、稲の健全な生育が図れます。
 - ・倒伏しにくくなり、台風にも負けないガッシリした稲になります。
 - ・地盤を固め、収穫時の機械作業を容易にします。

表 中干し開始時期の目安(茎数320～330本/m²)

株間 cm	栽培密度 株/坪	必要茎数 本/株
20	55	19～20
22	50	21～22
25	45	23～24
28	39	27～28

※条間は30cm